

議論

- すばる観測装置としての PFS
- 戦略装置／共同利用装置としての PFS の意義
- PFS の現在の仕様 (現在の仕様案、必須な機能)

SuMiRe PFS 議論

- すばる観測装置(戦略枠＋共同利用)としてのPFS
- 戦略装置としてのPFS (SuMiRe 提案)

共同利用装置としての必要な機能
共同利用と戦略枠

共同利用時間へのしわ寄せ
戦略枠の戦略的運用

- 装置仕様の検証
- 人材、運用サポート

PFS で広がるすばるのサイエンス

- 現在のPFS 提案仕様
- PFS 提案仕様からの発展・拡張

PFS の仕様

仕様	SuMiRe 案	議論、提言
ファイバ径	1.2 arcsec ϕ	点源、遠方銀河は1.0'' ϕ が最適？ 定量的な評価 (A/I)
視野・ファイバ数	2400本 in 1.5deg ϕ	ファイバ間隔の最小値は？ (A/I)
波長分解能・分散	R=3000 @850nm	>5000 (恒星分光) ~200本程度のファイバ high-resolution R~40000
波長範囲	600-1000 nm 392-600nm? 1-1.3 μ m?	370-600 nm は重要 (galaxy evolution) HSC にあわせ 1050nmまで確保 Blue Channel が重要 (恒星分光) 360nm まで 必要 (吸収線系)
効率	~20%	10% 以下は苦しい (銀河進化) できるだけ High throughput
その他 IFU	なし	
運用		

● 拡張性

波長透過性 短波長 長波長	コレクタ、ファイバ、分光器
高分散分光機能	ファイバ・セレクタ 分光器・分光素子
ファイバ数	
IFU	
その他	

すばる観測時間へのインパクト

- 戦略枠総時間 / 共同利用総時間
- Dark Night
- 戦略枠間バランス、オーバーラップ
- コミッショニング
- サイエンスの多様性